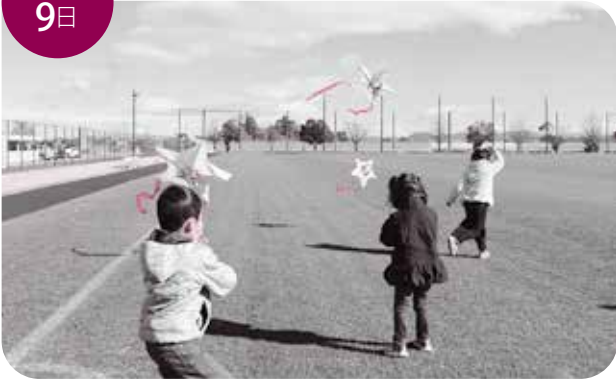




1月  
9日

全集中！手作り凧揚げ教室



寒さに負けず  
青空にあがれ  
星のライト

守山市文化体育振興事業団が主催し、ビッグレイクで開催されました。参加した7組の親子は、人気アニメやゲームのキャラクターなどを、思い思いに力フルに描いて「星のライト」を手作り。早速、広々としたサッカー場に出た親子らは、厳しい寒さと風の中を元気に走りまわって大空に手作りのたこをあげて楽しんでいました。

1月  
6日

諏訪家新春書き初め大会



市文化財の家屋で  
力強い毛筆で描く  
新春の願いや夢

大庄屋諏訪家屋敷市文化財が主催して書き初め大会が行われ、4歳児から大人まで約30人が参加しました。

参加者らは学校の宿題や干支の「うし」、新年の抱負などで思い思いの文字を選んで画仙紙に向かい、力強く筆を走らせていました。また、参加者が書いた力作は屋敷内に展示され、夢のある書が来館者の目を楽しませました。

1月  
10日

寒中稽古



琵琶湖に入って  
心身を鍛え  
精進を誓う

第二なぎさ公園で、陰陽会北辰館が恒例の寒中稽古を行いました。胴着姿にマスクとはちまきを着用した門下生30人が湖岸で体を動かした後、琵琶湖に入り、腰まで水につかりながら寒さに負けないうつ声を出して空手の型を練習していました。参加者は「毎年行う前は寒さに負けそうになるが、行った後はまた来年したくなる」と話していました。

1月  
10日

小浜勸請吊



800年の伝統  
密を避ける工夫で  
大しめ縄を奉納

800年以上続く伝統行事を守り、町内に疫病や災厄が入らぬようにと祈りを込めて、小浜勸請吊が行われました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため準備を事前に個別で行い、恒例の会食を取りやめるなど3密を避ける工夫で実施。

小浜自治会長は「大しめ縄奉納の伝統はしっかりと傳承しよう」と苦肉の策を取りました」と話していました。



守山市の人口

令和2年12月31日現在  
(前月比)

人口	84,511	(+ 92)
男	41,675	(+ 28)
女	42,836	(+ 64)
世帯数	33,381	(+ 44)



双眼鏡

そついで、2月の日数が少ないのはなぜなんだろつ調べてみると諸説ある中、今使っている太陽暦は古代ローマで作られ約400年前改良された時、現在の2月が1年の最後であったため調整に使われたのが有力とのこと。2月は無いものと思え、極端な言い方だが昔、先輩から言われた言葉だ。暦の上で他の月より日数が少ないことを差し引いても、おそ気分が抜けぬまま、ぼやっとしているとつぐに日は過ぎ年度末になってしまつて、とおつやりたかつたのだらう。

▼「ダイヤモンド・プリンセス号」が横浜港に入港してから、はや1年がたつとして、誠にも不謹慎ながら、当時、患方巻を頼張り、どこか対岸の火事のようにテレビのニュースを眺めていた自分を思い出す。気が付けば2月はおろか、1年があつたという間に過ぎ去つてた。